



熊本市配布文書第17号
令和7年（2025年）5月15日発行
発行者：秋津まちづくりセンター・公民館
熊本市東区秋津3丁目15-1 電話368-2200
akitsumachizukuricenter@city.kumamoto.
o.lg.jp

Q.民生委員になったきっかけは？

自治会長に頼まれました。それに加えて、地震を経験し、地域のつながりの大切さに気付いたからです。
民生委員になって、7年目を迎えます。

Q.今後の目標は？

高齢者の支援もちろんですが、地域の宝であるこども達を応援していきたいです。その一環で、小学校のサポートに入っています。

秋津校区民生・児童委員協議会
会長 古閑 恵子 さん



Q.民生委員になったきっかけは？

私の両親が民生委員にお世話になっている姿を見ていました。そんな中、熊本地震直後に民生委員になっていただいたと依頼があり、断る理由もなく引き受けました。民生委員も9年目を迎えます。笑顔が返ってきたときはやっていて良かったと思います。

Q.今後の目標は？

世代間交流を活発にしていきたいと思っています。

桜木校区民生・児童委員協議会
会長 穀本 純二 さん



聞いてみました

民生委員のこと

Q.民生委員になったきっかけは？

地震後に前任の会長から打診があり、民生委員のことを詳しく知らなかったけれど、地震の時につながりの大切さを知ったので、即断。就任した当初から、校区の民児協会長も拝命し、9年目を迎えます。

Q.今後の目標は？

和気あいあいと、委員同士相談し合える民児協にしたい。地域に対しては、あいさつをとおして心が温くなる、いざという時にスクラムが組める地域にしたいと思います。

桜木東校区民生・児童委員協議会
会長 下雅意 清 さん



Q.民生委員になったきっかけは？

退職後、地域のために何かしたいと考えていたところ地震が発生。避難先でつながりの大切さに気づき、民生委員の募集に手を挙げました。就任して、8年目を迎えます。

Q.今後の目標は？

高齢者支援はもちろんのこと、子育て世帯の支援に力をいれていきたい。こどもを取り巻く環境は年々複雑化しているので、保護者だけでなく、地域で子育てできるようにしていきたいです。

若葉校区民生・児童委員協議会
会長 栢木 孝一 さん



4人の方にインタビューさせていただきました。お話を伺う中で、「地域が良くなるために何かしたい、困っている人を支援したい」という熱い想いが、ひしひしと伝わってきました。また、定期的な会議を開催することで相談や協力ができる体制ができており、委員一人で悩まないように配慮されているのだと感じました。

／ちょこっと知っとこ／

熊本地震の経験を未災地へ伝える活動

県内・県外から、熊本地震の際の民生・児童委員の行動や対応について学ぶため、視察にいらっしゃいます。秋津校区や若葉校区では、当時の様子について映像や資料を活用して、お話をされています。視察にいらっしゃる地域の方は、まだ災害を経験されていない「未災地」の方。あさひば地域での経験を少しでも持ち帰っていただき、活動の参考にさせていただきたいですね。



鹿児島県曾於市視察研修
受け入れの様子
(秋津1町内)